

# ブルLF-S 発注・施工マニュアル



上質でシンプルなブルLF-S丁番を使用したガラス厚み8、10mm対応の大型ガラス扉用のプランです。

最高品質の仕上げで高級感のあるヒンジで、シンプルさを極めたフラットデザインを使用しているため、ショーケース等のガラス扉として使用することが多いです。扉はインセットタイプで開口部枠の内側に設置し鍵を使って開閉します。

発注や施工にあたって、金具及びガラスの選び方や取付方法をマニュアルとして簡単にまとめました。

その他ご不明な点がありましたら株式会社コダマガラスまでご連絡ください。

## 目次

0 事前調査

2 ガラスの発注について

4 施工方法について

1 基本パーツについて

3 金具の詳細・ガラスの加工について

## 0 事前調査

### チェック項目



#### 軸受けの穴加工が可能か確認してください

1

ガラス扉を付ける枠の素材は木下地がベストです。  
上下に軸受け用の穴(Φ16×D20mm以上)をあける必要があります。  
また、鍵の戸当たり部材はビス止めが必要となりますので、ビス止めが可能かどうかご確認ください。



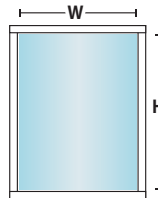
#### 開口寸法及びガラス寸法が適合しているか確認してください

##### 【ガラスの厚み】

8・10mm

##### 【耐荷重】

ブルLF-S(偏芯軸)…35kg/1組



##### 【最大寸法】

最大W寸法 / 900mm

最大H寸法 / 8mm:2200、10mm:2600mm

##### 【主要材質・仕上】

真鍮 / クローム

#### 対応ガラスサイズ・重量の参考例

2

ガラス厚:8mm(単位kg)						ガラス厚:10mm(単位kg)					
2200	22	26.4	30.8			2600	32.5				
2100	21	25.2	29.4	33.6		2400	30				
2000	20	24	28	32		2100	26.3	31.5			
1800	18	21.6	25.2	28.8	32.4	1800	22.5	27	31.5		
1600	16	19.2	22.4	25.6	28.8	1600	20	24	28	32	
1500	15	18	21	24	27	1500	18.8	22.5	26.3	30	33.8
高さ/幅	500	600	700	800	900	高さ/幅	500	600	700	800	900

※耐荷重に関係なく、ガラスのたわみによる高さ制限をさせて頂いております。

※ご検討・ご使用の際は、商品頁の注意事項も必ずご確認ください。

ガラスの幅及び高さサイズ、ガラスの重量は目安となります。参考値として参照ください。

ガラスの重量は厚み8mm:20kg/m<sup>2</sup>、厚み10mm:25kg/m<sup>2</sup>となります。



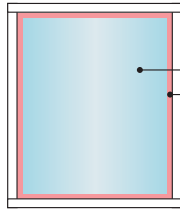


**ガラスを取り付ける枠の内寸＝開口寸法を採寸してください**

ブルLF-Sはガラス扉を開けた時に軸心より内側が枠の内側に入るため、棚板等に干渉する場合があります。ブルLF-Sを使った開口部分に棚板等を取り付ける場合は、枠の外側から55mm以上セットバックするようにしてください。

また、吊元(丁番の位置)を左右どちらにするかもご確認ください。

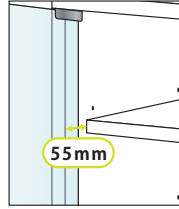
3



ガラス寸法  
開口寸法

**内寸＝開口寸法**

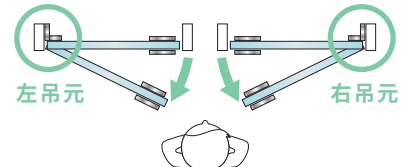
取り付ける幅と高さのサイズを指します。



55mm

**棚板等の取り付け位置**

棚板等を取り付ける場合は55mm以上セットバックしてください。



左吊元

右吊元

**吊元**

開き扉の丁番がついている側を指します。

**1 金具の基本パーツについて**

ブルLF-Sは上下ヒンジのインセットタイプの扉で、開閉方法についてはカギを使用します。カギはブルロックセットを標準仕様としておりますが、別途他のカギを指定することも可能です。

ガラスの厚み、仕上げ等により選択する金具の基本パーツが異なるため、設置場所や用途、枠の仕上げ等と合わせて基本パーツをお選びください。

お見積もりや発注の際には基本パーツの注文コードをお伝えいただくと便利です。基本パーツは類似のカラーをセットとしておりますが、その他の組み合わせでも可能です(別途ご相談ください)。

**基本パーツ一覧**

プラン	開閉方法	仕上げ	必須(名称:製品ID)	いずれか選択	注文コード
P-GD-BL-71394 ブルシリーズ、偏芯軸、 ガラス厚8・10mm	カギ	クローム	ブルLF-S(クローム):K-71394CR	K-71277:ブルロック右用	71394CR-R
				K-71278:ブルロック左用	71394CR-L

※両開き(観音開き)の場合は、K-71417:ブルロック両開き用もございます。

## 2 ガラスの仕様について

### ガラス種類・仕様

ガラスはフロートガラスでもご使用は可能です。  
ガラス扉として使用するため、安全上飛散防止フィルム貼もしくは強化加工をお勧めいたします。  
ブルLF-Sの適合厚みは8mmもしくは10mmです。

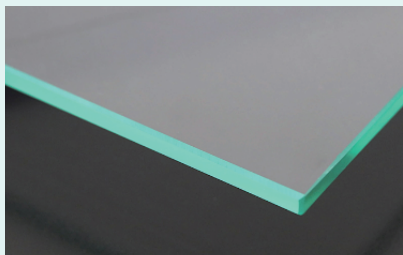
ガラス種類及び納期の目安					
	厚み	通常納期	オプション		
			強化加工	飛散防止フィルム	すりガラス調フィルム
フロートガラス	8mm、10mm	2～5日	+6～9日	+1～3日	+1～3日
高透過ガラス	8mm、10mm	2～5日	+12～18日	+1～3日	+1～3日
フロストガラス	8mm、10mm	2～5日、5～7日	+6～9日	+1～3日	+1～3日

※その他のガラスの使用をお考えの方は別途ご相談ください。

### 切断面処理について

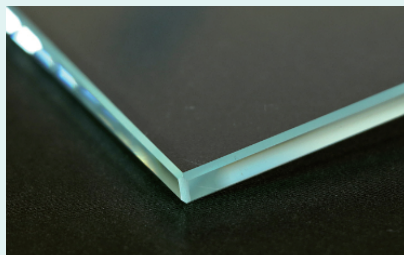
ガラスの切断面は糸面磨きにて加工し、4隅も角落とし加工を標準の加工といたします。  
その他の加工をご希望の方は別途ご相談ください。

#### 切断面処理〈必須〉



糸面磨き

#### 四隅加工〈必須〉



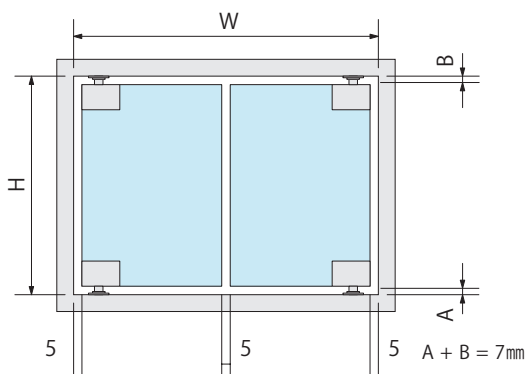
角落とし加工

### ガラスサイズ

ガラスサイズについてブルLF-Sの場合、枠の内寸から幅のクリアランスについては5mmずつの-10mm、高さのクリアランスについては上下で-7mmとなります。

発注時には開口寸法を教えてください、ガラス寸法について特に指示が無い場合、ガラス幅は-10mm、高さは-7mmで製作いたします。  
ガラス寸法を指定される場合は下記図をご参考ください。

#### ガラスのクリアランス



片開きの場合  
硝子高 =  $H - 7$   
硝子幅 =  $W - 10$

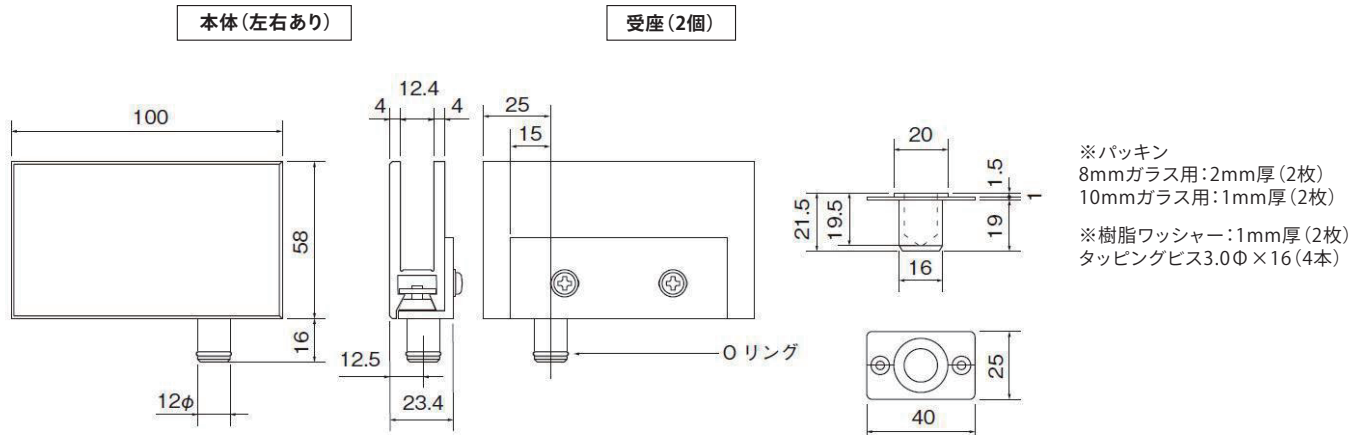
両開きの場合  
硝子高 =  $H - 7$   
硝子幅 =  $(W - 15) \div 2$

### 3 金具の詳細及びガラスの加工について

#### ブルLF-Sについて

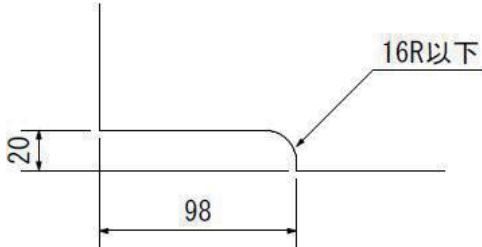
ブルLF-Sの金具は真鍮のクロームが標準となります。  
ガラスとのセットはプラスドライバーがあれば可能です。

#### ■ブルLF-S

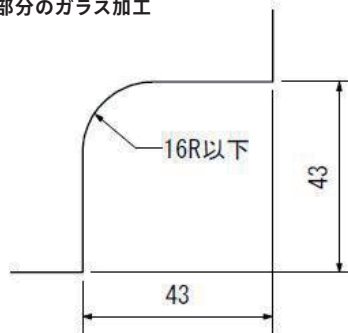


#### ガラスの加工について

#### ■丁番部分のガラス加工



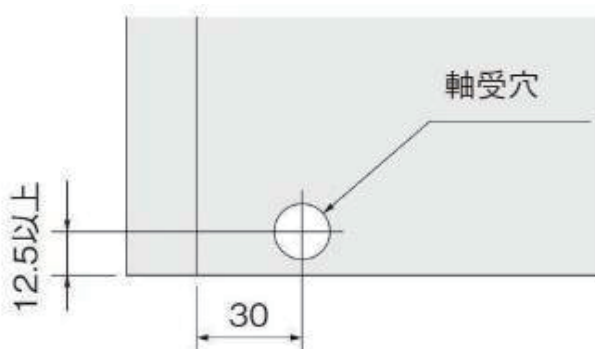
#### ■カギ部分のガラス加工



※安全のため、強化加工または飛散防止フィルムを貼ることをおすすめします。

#### 丁番の軸受穴について

丁番の軸心の穴位置については端から30mmが中心で、枠の前面からは12.5mm以上内側で設定してください。  
穴径は16Φで深さは20mm以上必要となります。  
ケースの上下ともに図の位置に穴あけ加工してください。



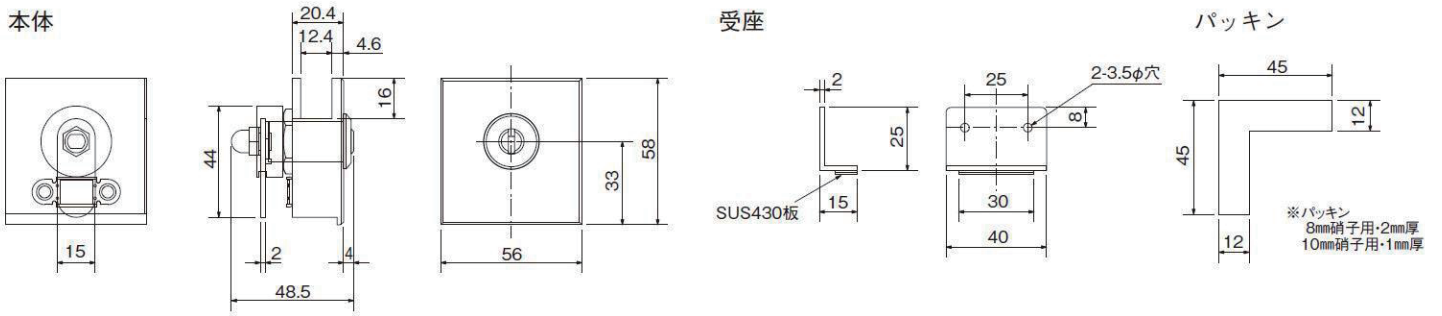
ケースの上下とも左図の位置に、下記の寸法にて穴あけを加工してください。

- ・木製の時:16Φ穴(有効深さ20mm以上)
- ・スチール枠の時:16.1~18φ穴(有効深さ20mm以上)

## カギについて

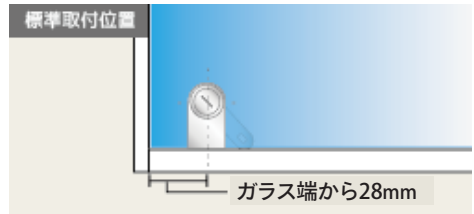
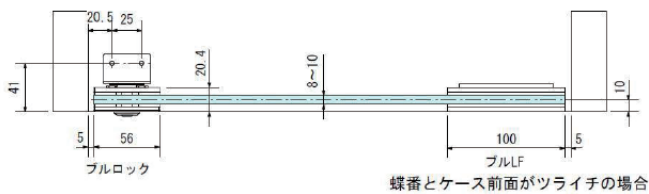
カギはブルロックセット(クローム)を標準仕様としています。  
ブルロックセットはカギと枠に直付けする戸当たりがセットになっています。

(図は右吊元用)



### カギの 取付位置に ついて

ブルLF-Sシリーズで使用するカギはガラス端から28mm中心が標準となります。

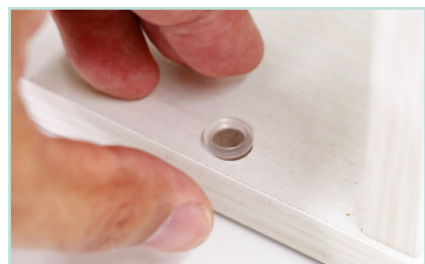
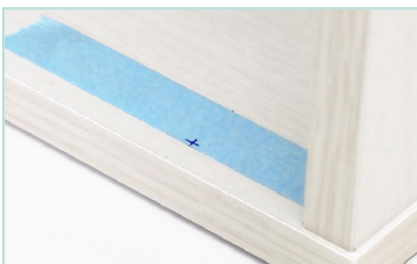


## 4 施工方法について

### ヒンジの取付

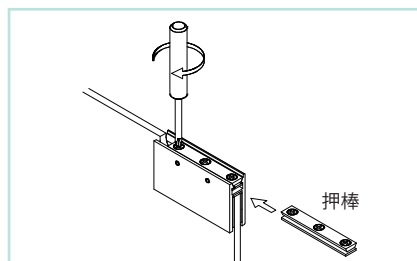
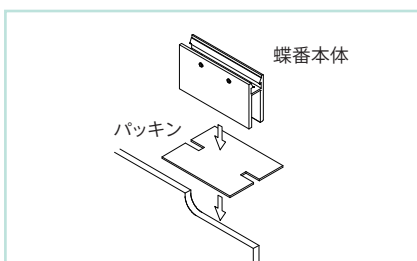
#### 1 軸受の穴をあける

- ・軸受の位置にマスキングテープを貼り、あらかじめ設定した中心の位置をマークします。
- ・φ16mmの錐で穴をあけます。深さは最低でも20mm以上あけるようにしてください。
- ・軸受けをセットします。軸受けは差し込むだけなので簡単です。  
※穴が大きくなって軸受けが落ちる場合は接着剤等を使用してください。



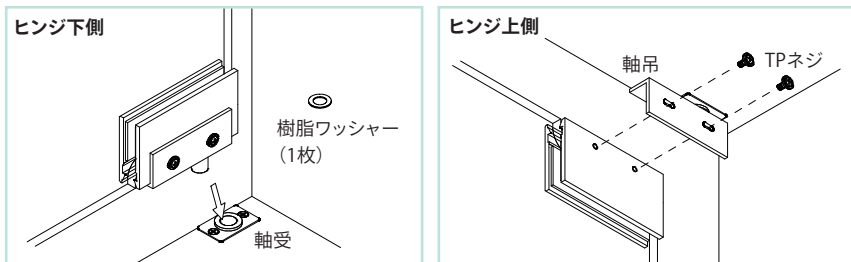
#### 2 ガラスを丁番にセットする

- ・切り欠きしたガラスにパッキンをあてがい丁番本体を挿入します。  
ガラス厚8mm ⇒ パッキン2mm厚 (穴のあいていない方) / ガラス厚10mm ⇒ パッキン1mm厚 (穴のあいている方)
- ・丁番本体に押棒を差し込み、ドライバーでしっかり締め付けます。※開口部が狭い場合は広げてご使用ください。



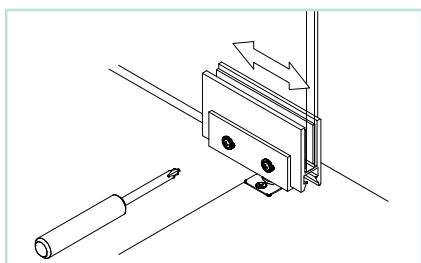
### 3 ケースへの硝子の取り付け

- ・軸部に樹脂ワッシャーを計2枚、あらかじめつけておりますので外してください。
- ・下側の丁番本体に、軸吊をTPネジを用いて取り付けして下さい。
- ・ヒンジ下側の軸受の上に樹脂ワッシャーを1枚セットします。そして、扉ガラスを持ち上げ、丁番の軸を軸受に差し込みます。(基本は下側にワッシャー1枚ですが、調整用として2枚使用も可能です。上側には使用しないでください。)
- ・ヒンジ上側の軸受を取り付け、右図の様に軸吊だけを差し込んだ状態にして、丁番本体と軸吊をTPネジで固定して下さい。

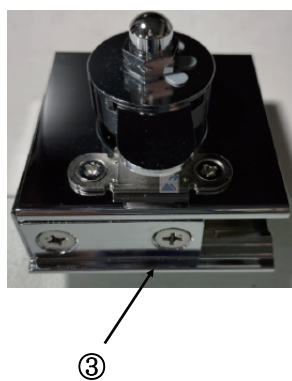


### 4 微調整をする

- ・微調整は、扉ガラスの取り付け後、丁番の裏側のTPネジをドライバーで一旦緩め左右に移動させたのち、再度TPネジを締め付けて固定します。また、微調整は最大±3mmの範囲で可能です。
- ・高さにおいては、樹脂ワッシャーをもう1枚追加することで、調整して下さい。



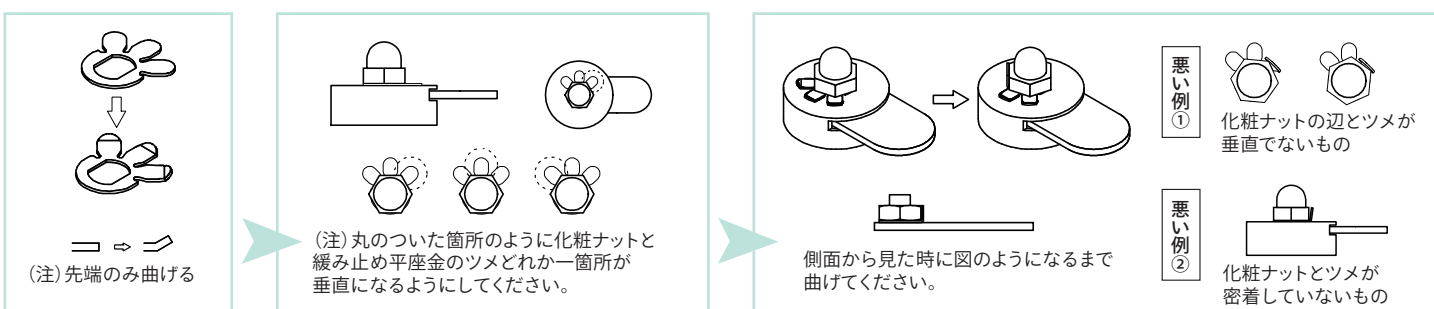
## 鍵の組立、取付方法



- 1…パッキン (8、10mm用)
- 2…本体
- 3…押棒
- 4…錠前
- 5…裏カバー
- 6…ロックカム
- 7…カム用ナット緩み止め平座金
- 8…化粧ナット
- 9…受座
- 10…ビス
- 11…キー

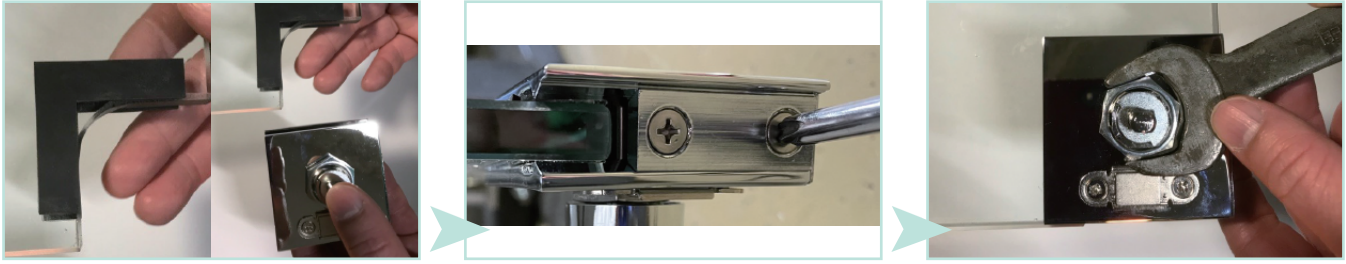
### 1 カム用ナット緩み止め平座金を組み立てる

- ・ツメの先端、3箇所を2mm程度ペンチなどで内側へ曲げておきます。
- ・緩み止め平座金を化粧ナットの下に入れ、3つのツメのうち一つが化粧ナットの辺と垂直になるように締め付けます。
- ・緩み止め平座金のツメ(ナットと垂直にしたツメ)一箇所をペンチ等で、ナットに密着させるように曲げ、ナットが回らないようにして下さい。

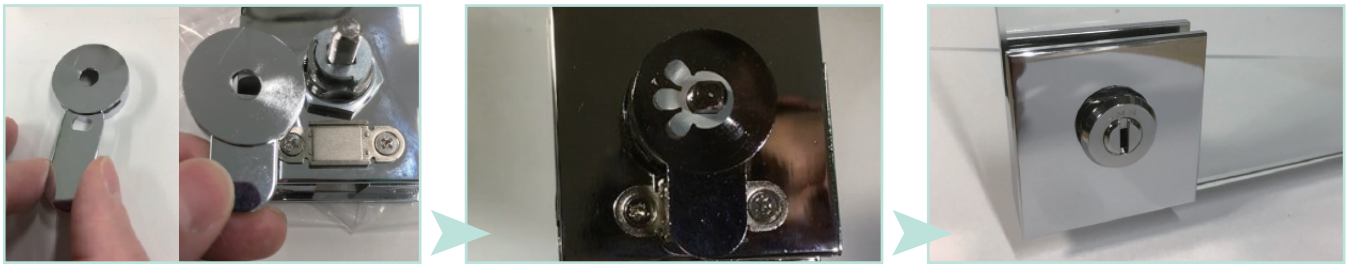


## ② ブルロックを組み立て、ガラスに取り付ける

- ・欠き取りに沿ってパッキンをガラスの両面に貼り、本体をガラスに差し込みます。
- ・ガラスに対して縦・横の位置を合わせたら押棒を交互に締め本体を固定します。
- ・錠前をナットで固定します。

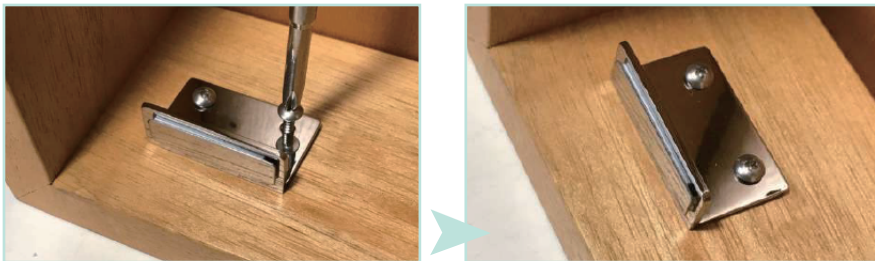


- ・裏カバーとロックカムを合わせて、錠前ボルト部へセットし、本体をガラスに差し込みます。
- ・カム用ナット緩み止め平座金をセットし、その後化粧ナットを固定します。
- ・取付完了です。



## ② 受座を取り付ける

- ・位置を決め、受座をビスにて固定します。



**FAX用見積・注文依頼シート**

<input type="checkbox"/> <b>見積依頼</b> 見積依頼の方はチェックしてください	<input type="checkbox"/> <b>注文依頼</b> 注文依頼の方はチェックしてください		
<b>ご希望の返答方法</b>	<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> メール
<b>ご希望のお支払い方法</b>	<input type="checkbox"/> 代金引換(現金)	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> クレジットカード決済
(※振込先はご注文確定後ご連絡いたします。三菱東京UFJ銀行orゆうちょ銀行or関西みらい銀行)			

<b>お客様情報(※印は必須です)</b>	
お問合せ番号	
※お名前(会社名)	ご担当者名
※ご住所 〒	
※お電話番号	FAX番号
その他携帯等	Eメールアドレス

 お見積り・ご注文の際には下記内容について分かる範囲でご連絡ください 

- 注文コード
- 開口寸法
- 開口の数
- ガラスの種類・仕様
- 丁番・カギ・つまみの位置
- その他